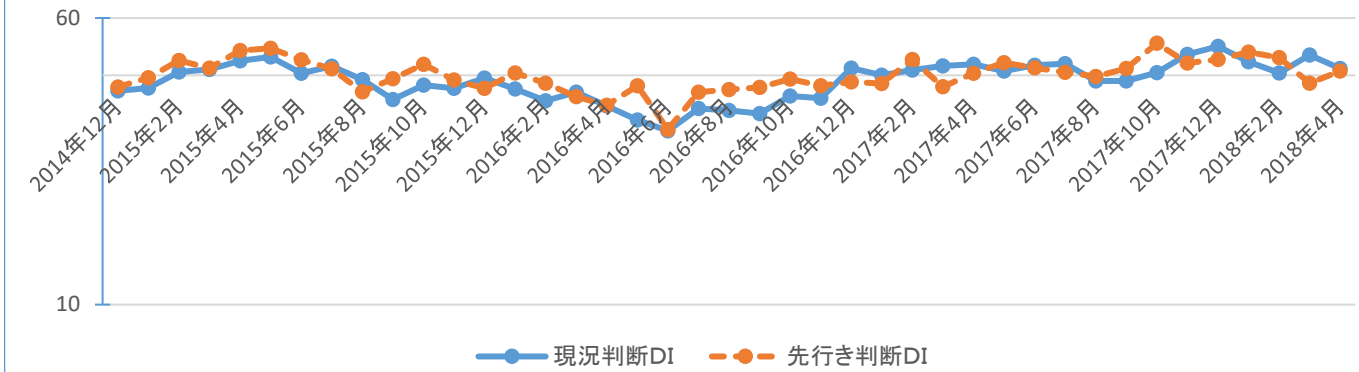


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2018年4月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》節分やひな祭り等のイベントでは、例年どおり客が多かった。酒税法改正の影響で大手他社に売上を取られたりしているが、店全体でみるとふだんの食材の買物で、信頼して来店してもらっていると感じる。【スーパー（店長）】
		不変	《来客数の動き》昨今の不安定な社会情勢から業績悪化を懸念していたが、結果的には小売を主とする4月中旬までの売上は前年同期比99.8%と例年並みである。今のところ客の消費動向に対する悪影響はない。【コンビニ（本部管理担当）】
		やや悪	《その他》4月より包装資材が全て値上がりしており、他の支出を抑えるしかない。【一般レストラン（従業員）】
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》部品が不足しているため納期が長くなっている。出荷枠を確保するために客の注文時期が前倒しになっており、受注の先取りが起きている。【一般機械器具製造業（営業担当）】
		不変	《受注価格や販売価格の動き》相変わらず中国産原料等の価格上昇の影響が続き、利益が圧迫されている。中国品との価格競争で国内生産を休止した原料や資材もあり、値上げを受け入れなければ供給停止になりかねない。【窯業・土石製品製造業（社員）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》4月は受注量が少ない傾向があるが、前年と比べても更に少ない。【電気機械器具製造業（営業担当）】
	雇用 関連	やや良	
		不変	《求職者数の動き》求人の総量は潤沢にあるが、正社員求人は伸びていない。足元での新規求職者数は、高年齢求職者の増加を背景に、前年同期に比べて横ばい若しくは微増の範囲内にある。【職業安定所（所長）】
		やや悪	《その他》4月は、自動車産業全般において、年度末の生産調整で残業が少ない企業が多くみられる。【アウトソーシング企業（エリア担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	店内ちゅう房の拡大と夕夜間の総菜のキャンペーンにより販売が増加しており、キャンペーンの継続とエリア商品の発売を予定している。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	客の旅行予算は控えめだが、夏休みは家族旅行が1年で最も活発になる。海外を始め北海道、沖縄、九州の需要が高まり動きも良くなるが、台風等天候に左右されるので、秋まで分からない。【旅行代理店（経営者）】
		やや悪	介護保険制度の改正で、福祉用具貸与価格の上限が設定される。地域ごとの市場価格帯を全国平均で調整しようとするもので、都市部の営業所に影響が出る。【その他サービス〔介護サービス〕（職員）】
	企業 動向 関連	やや良	受注量の減少はあるが、市場は適正単価を受け入れてきている。【輸送業（エリア担当）】
		不変	部材の納期の長期化と原材料価格の高騰で、納期が守れなくて失注したり、短納期対応として部材の価格が上がるため、受注や引き合いは増えているが利益の確保が難しい。【一般機械器具製造業（営業担当）】
		やや悪	リフト乗務員や荷役の作業者の退職が増えている。時給で200~400円以上の差をつけて現業職員を募集する製造業が増えてきた。【輸送業（経営者）】
	雇用 関連	やや良	企業や経済団体等からは、合い言葉のように頻繁に人手不足と聞く。新規求人数の動きからも、今後の景気は若干の上向きが続く。【職業安定所（次長）】
		不変	有効求人倍率は高い水準で推移しているものの、特に若年求職者が減少しており、企業の人手不足感が強まっている。業務拡大ができず足踏み状態となっている。【職業安定所（所長）】
やや悪		企業の求人数の動きが一服する。【人材派遣会社（社員）】	